

事業提案書

提案グループ Cグループ

1. 事業名	「猪苗代駅～裏磐梯高原駅間」バス路線の乗客増加事業 ～住民と観光の共生について～
2. 提案目的	当該路線の乗車客増を目指す
3. 概要	<p><当該路線の特徴・課題></p> <ul style="list-style-type: none">・「猪苗代駅～裏磐梯高原駅間」路線は“猪苗代町”と“北塩原村”を結ぶ地域幹線系統である。・路線の利用状況は裏磐梯の観光地への移動といった『観光客利用』と、猪苗代町内の通学、医療、買い物といった『生活利用』に二極化している。（ただし裏磐梯のホテル利用者は、ホテル直営の送迎バスを利用しているため、ホテルへの移動による利用は少なく、また、多くの北塩原村民は自家用車で移動するため村の生活利用者は少ない。）・また、新緑～紅葉の時期にかけては観光客が多く押し寄せる一方で、冬季は最盛期に比べ利用者が極端に減るなど、利用状況の平準化が課題である。・更に、当該路線の利用にあたっては、五色沼や諸橋近代美術館といった目的をもった利用が多く、沿線の利用は住民に限られている。 <p><実施内容></p> <p>【ステップ1 情報の可視化】</p> <p>①-1 『沿線バス停魅力調査』</p> <p>当該路線の各バス停の乗降者数を増やすため、“第三者の目”を活用した魅力の再発見を行う。 (具体案)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><ul style="list-style-type: none">・福島県立テクノアカデミー会津観光プロデュース学科と連携し、沿線バス停に降車するきっかけ作りを行う。・インフルエンサーによる映えポイントの洗い出し。</div> <p>①-2 『途中下車促進事業』</p> <p>『沿線バス停魅力調査』をもとに発掘した魅力をホームページやアプリ、SNS 等で公開、或いは容易に検索可能にし、路線全体の魅力向上を図る。 3ストップポイント（食事、体験、お茶）の発掘、掲載。</p> <p><その他関連施策></p> <ul style="list-style-type: none">・誰もが利用しやすい時刻表に見直し。 <p>【ステップ2 試行実施】</p> <p>② 『猪苗代駅～裏磐梯高原駅間 乗り放題チケット』 To-To パス</p> <p>試験的な乗り放題チケットを発行し、上記ステップでの取り組みの効果検証を行う。 スマートフォンのアプリケーションを活用し、予約・決済・チケット表示までを行い、表示されたチケットをドライバーに見せて乗り降りする。紙でも対応可能にする。 乗車客の増とスムーズな乗降を両立させる。</p>

	<p>③『補助対象範囲内での経路変更』</p> <p>当該路線は地域公共交通確保維持改善事業の補助対象路線であることから、補助対象要件の範囲内での経路変更と効果検証を実施する。</p> <p>(具体案)</p> <p>・増減20%という補助対象要件の範囲内での経路変更を、猪苗代町体験交流館「学びいな」までの路線延長に活用し、現在の生活利用における“買い物”、“病院”、“通学”に加え“生涯学習”という分野での利用促進を図る。(午前2便、午後2便を想定)</p> <p>④バス利用に伴う特典、バスの待ち時間を活用した地域活性化</p> <p>『GoTo 猪苗代』</p> <p>便数の少なさ・電車との接続時間を調整する「まちカフェ」を開設し地域おこし協力隊の活動拠点とする。</p> <p>バス時刻にあわせたワークショップを開催する。</p> <p>※また、バスの途中下車の回数に応じて特典を設ける。</p> <p>(あいづ呑んべえ文化支援プロジェクト実行委員会主催「会津酒場スタンプラリー」参考)</p> <p>【ステップ3 再編・見直し】</p> <p>これまでのステップで得られた情報をもとに、利用の促進を図るための効果的かつ持続可能な路線を目指し再編に取り組む。</p>
<p>4. 実施主体</p>	<p>1 猪苗代町、2 北塩原村、3 磐梯東都バス、4 裏磐梯観光協会 その他協力依頼団体 (福島県立テクノアカデミー会津)</p>
<p>5. 実施期間、スケジュール</p>	<p>一連を3か年で検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目 調査 ・2年目 取組の試行実施 ・3年目 効果検証・路線再編
<p>6. 予算概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の活用：470万円 ・路線調査の研究費 20万円 ・ホームページ制作費 ・アプリケーション費用 170万円 (イニシャル150万円、ランニング20万円)
<p>7. 参考事例 (ある場合のみ記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福島県立テクノアカデミー会津観光プロデュース学科ゼミ生による魅力再発見調査 (平成29年度～令和元年度実施の奥会津のバス・電車路線魅力再発見) ・あいづ呑んべえ文化支援プロジェクト実行委員会主催「会津酒場スタンプラリー」
<p>8. その他</p>	<p>猪苗代駅～裏磐梯高原駅間をメインに提案したが、磐梯山エリアとして磐梯町、猪苗代町、北塩原村で展開したい。また、磐梯山を中心とする3町村がワーケーションの聖地を</p>

目指す一つの施策として、ワーケーション利用者が余暇を求め近隣地域（温泉、スキー場等）に足を延ばす場合に利用できる公共交通機関を整備。

- ・今あるものを活用しながら、住民、関係機関との連携。
- ・観光客のみならず住民にも楽しめるプランを提案。

『GoTo 温泉、スキー場』

裏表磐梯や中ノ沢などの温泉地、ホテルの温泉めぐりバスラリーを開催

日帰り入浴回数券の販売 など

スキー場とも連携し、スキー場間の往來を可能にする。